

令和5年度三田市高校生議会 質問・答弁内容

議員名 (高校)	質問テーマ・内容	答弁内容
<p>⑪ 浦田 景太郎 (三田学園高等学校)</p>	<p>(再質問)</p> <p>三田市の活動は私も「三田市学生サミット」などに参加したことがあり、非常に良い取り組みだと思います。しかし、このまま地域内での活動に限定されると、モチベーションが低下する可能性があると考えます。</p> <p>私の経験から言えば全国規模で行う活動、広い世界を見ることができる活動の方が経験を得やすく、かなり刺激がありました。実際に三田市から活動が始まり、現在では全国で活躍している学生団体 Get CHANCE はリーダー塾の参加者たちで作られました。また、リーダー塾など全国規模で行う人材育成プロジェクトに参加させるために支援を行なっている自治体も数多くあります。</p> <p>将来的に、人口減少や衰退が進む可能性もある三田市がまた発展していくために、若者を全国規模の人材育成プロジェクトに参加できるよう支援を行い、三田市そして世界を変える人材を育てることができるチャンスだと思っていますがどのように思いますか。</p>	<p>(再答弁)</p> <p>浦田議員の再質問に対しては、私からお答えさせていただきます。</p> <p>私どもも、議員がご提案の「日本の次世代リーダー養成塾」に参加する方に対して支援を行っている自治体があることは承知しております。</p> <p>高校生の皆さんにとって、この塾への参加が大きな刺激となることは想像に難くありません。</p> <p>市としては、高校生を含む若い世代の皆さんの夢の実現への想いや努力を応援しておりますが、それでもなお、ご質問に係る支援が難しいと考えている理由は、先ほど市長がお答えをしたとおりです。</p> <p>その上でのご質問ですので、さらに付言させていただきます。</p> <p>仕事とは、「誰かの課題を解決すること」と言われることがあります。</p> <p>誰のどんな課題を解決したいのか、を明らかにすることは、仕事のやりがい、生きがいにもつながると思います。</p> <p>この観点からすると、三田市に住む人の課題を解決することと、例えば、海外に住む人の課題を解決することは同じ価値を持つと考えています。</p> <p>また、Think globally,act locally との言葉があるように、地球規模で考え、足元から行動することが大切です。</p> <p>市が実施している「高校生議会」、「三田スモカモス・プロジェクト」、「学生サミット」</p>

の特徴は、身近な事柄を題材しており、何よりも、当事者や環境などにリアリティがあることにあります。直接インタビューやフィールドワークをすることもできます。そこで得た知見をもとに、仮説を立て検証を繰り返すなどにより、深く考察することは、予測が困難な時代において必要とされる「課題を発見する力」を養うことができます。また、仲間で協力しながら課題解決に取り組むことは、ビジョンの共有、役割の設定などチームづくりをする上での必要な経験を積んでいただくこともできるのではないかと期待しています。これこそ、まさに議員がおっしゃる「主体的な学び」につながるものだと考えています。

議員のご質問の趣旨には、同意するところであり、ご質問にある支援を実施することは難しいですが、同じ趣旨である本市が実施している事業については、さらなる充実を図ってまいりたいと考えておりますので、議員のご理解をいただきますようお願いいたします。